

今週のお祈り

聖霊降臨後第14主日(特定17) 特禱  
慈しみ深い神よ、あなたはみ恵みを常にわたしたちに先立たせ、また伴わせてくださいます。どうかこの恵みによって絶えずすべての良い業を行うことができますように、主イエス・キリストによってお願いたします。アーメン



日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 にちようがっこう  
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1  
でんわ: 03-3710-6031

号外 163

発行日  
2023年  
9月3日

9月に入り、教会の庭にキバナコスモスがたくさん咲いています。夜になると虫の声も聞こえ、暑かった夏も少しずつ秋に近づいているようです。神様が創造され、私たちに与えてくださる美しい自然に感謝します。



今週の聖書 マタイによる福音書 16:21-27

21 この時から、イエスは、ご自分が必ずエルサレムに行き、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっている、と弟子たちに打ち明け始められた。22 すると、ペトロはイエスを脇へお連れして、いさめ始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことがあってはなりません。」23 イエスは振り向いてペトロに言わ

聖書からのメッセージ

司祭 橋本 克也

「サタン、引き下がれ。あなたは私の邪魔をする者だ。神のことを思わず、人のことを思っている。」と激しい言葉でイエス様に叱られたのは、イエスに「あなたはメシア、生ける神の子です」といった、弟子を代表するペトロでした。

きっとペトロには、十字架にかけられ、苦しみを受けて傷つき痛んでおられる神の子、救い主の姿は想像できなかったのでしょう。

教会の十字架は、痛み、悲しみ、時には孤独と不安を生きる人と最後までその人のそばでいっしょにおられるイエス様こそが救い主であることを示しています。私たちもいっしょに考えてみましょう。

れた。「サタン、引き下がれ。あなたは私の邪魔をする者だ。神のことを思わず、人のことを思っている。」24 それから、弟子たちと言われた。「私に付いて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を負って、私に従いなさい。」25 自分の命を救おうと思う者は、それを失い、私のために命を失う者は、それを得る。26 たとえ人が全世界を手に入れても、自分の命を損なうなら、何の得があるのか。人はどんな代価を払って、その命を買い戻すことができようか。27 人の子は、父の栄光に輝いて天使たちと共に来るが、その時、それぞ

れの行いに応じて報いるのである。